

年度	R3
シートNo.	55
シート名	農業振興

## 業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち
	施策目的 (上位目的)	23 農産物を安定して提供できるまちになる
	施策の方向	<p>VII-23 農家数が減少するなか、関係機関との連携を図りながら新たな担い手の育成を推進します。また、認定農業者などへの情報提供や支援を行い、集落営農の組織化や法人化など、地域の実情に即した経営体の育成を図ります。</p> <p>VII-23 消費者のニーズに応じて、安全安心でおいしく新鮮な農産物づくりを推進するとともに、6次産業化やブランド化を進めるなど、市内で生産される農産物の競争力を高めます。また、食をテーマとした交流事業などを通じて、地産地消、食育などに対する市民意識の向上を図ります。</p>

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	9.0	2.0	0.0
		16.0	3.0	0.0

款	項	目	事業名	予算額
6	1	3	農業振興対策事業	7,329 千円
6	1	3	経営所得安定対策事業	27,247 千円
6	1	3	担い手育成支援事業	15,841 千円
6	1	3	新規就農支援事業	3,117 千円
6	1	3	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業	500 千円
6	1	4	畜産振興対策事業	6,048 千円
合計				60,082 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
効率的で安定的な農業経営ができる	認定農業者数(人)	253	251	251	255	212	→	○	認定農業者であることが加入条件であったナラシ対策に代わり収入保険制度が創設され、更新者が減少したことからR元の実績と比較した。

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目 標	達 成	備 考
01	優良農地の確保									
0101	農業振興地域の確保	農振農用地(青地)面積(ha)	2119.5	2114.7	2113.1	2111.9	2110.7	→	○	
010101	市農業振興地域整備計画の適正管理									
010102	法に基づいた整備計画の見直し									
010103	農振除外の適正指導									
	事業名	農業振興対策事業	年度別決算・予算額(千円)	3,289	3,022	4,728	5,472	6,970	7,119	
02	経営所得安定対策事業の推進	制度の交付申請者数(人)	557	542	510	482	449	→	×	・小規模農業者が高齢化等により離農しているが、担い手への集約が進んでおり、事業全体の推進は図られている。 ・H30年度で国による米の生産調整制度が終了し、その後は農家の主体的な経営判断により、代替作物への取組みが図られている。
0201	代替作物作付の推進	生産目安面積(ha)	1211.9	1229.4	1243.4	1216.9	1154.6	→	×	
020101	JAと協力し制度の周知									
0202	麦の作付拡大の推進	麦の作付面積(ha)	738.4	752.1	783.0	784.1	799.3	↑	○	
020201	JAと協力し制度の周知									
0203	収入減少影響緩和(ナラシ)対策の加入推進	ナラシ対策加入者数(人)	202	200	195	185	143	→	×	・ナラシ対策に代わる収入保険制度が創設されたことにより、加入者数が減少したことからR元の実績と比較した。
020301	JAと協力し制度の周知									
	事業名	経営所得安定対策事業	年度別決算・予算額(千円)	24,398	27,076	32,920	25,631	25,246	27,247	
03	経営の安定化									
0301	園芸産地の育成	園芸用ハウスの整備(a)	24	42	44	4	21	→	○	
030101	認定農業者の事業要望の把握									
0302	空きハウス利活用の推進	空きハウスの活用(a)	0	0	0	0	0	→	×	
030201	JAと協力し空きハウスの把握と所有者の意向把握									
030202	JAと協力し認定農業者への情報提供									
	事業名	担い手育成支援事業	年度別決算・予算額(千円)	6,356	8,673	21,226	4,092	4,871	15,841	
04	新規就農者の育成									
0401	新規就農者の確保・育成	新規就農者数(人)	9	6	8	6	8	→	○	
040101	新規就農者に対する相談体制の連携・整備									
0402	認定農業者への誘導	営農計画の作成・指導会の開催	4	4	4	8	5	→	○	
040201	認定農業者制度の周知									
040202	営農計画の作成・指導									
	事業名	新規就農支援事業	年度別決算・予算額(千円)	1,642	267	142	642	832	3,117	
05	安全・安心野菜の生産地づくりの支援									
0501	有機農法・新素材実証	土壌分析箇所(箇所)	400	400	400	400	400	→	○	
050101	土壌用分量の分析									
050102	農業用新素材効果実証									
	事業名	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業	年度別決算・予算額(千円)	420	420	420	120	120	500	
06	耕作放棄地の解消									
0601	耕作放棄地再生活動の推進	耕作放棄地解消面積(a)	57	81	28	47	71	↑	○	
060101	農業委員会との協力による耕作放棄地の把握									
060102	放棄地所有者の意向確認									
060103	認定農業者への情報提供									
	事業名	耕作放棄地再生活動推進事業	年度別決算・予算額(千円)	170	241	84	138	207	210	
07	経営の安定化									
0701	優良牛(乳牛)の導入支援	事業対象牛の導入(頭)	34	31	37	40	36	→	○	
070101	事業周知									
070102	酪農家の要望の把握									
	事業名	畜産振興対策事業	年度別決算・予算額(千円)	5,060	4,720	5,415	6,582	7,742	6,048	
08	6次産業化の推進									
0801	農産物の加工商品化の推進	加工商品化支援事業(件)	1	2	2	1	2	→	○	
080101	事業周知									
	事業名	6次産業化推進事業	年度別決算・予算額(千円)	416	1,618	709	1,344	1,008	-	

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括  
 農産物を安定して提供できるまちを目指して、優良農地の確保や経営所得安定対策事業の推進に努めるとともに、担い手育成支援、新規就農者支援、安全・安心野菜の産地づくり支援の各事業について関係機関と連携し一定の成果を得ることができた。また、畜産振興対策事業でも市単独の補助事業により優良牛(乳牛)の導入支援を行い酪農家の経営安定を図ることができた。しかし、耕作放棄地再生活動推進事業については、農業委員会と協力し毎年度現地調査を実施し、周囲の農業者の協力により早期の解消実現に努めてはいるものの、全域的に発生を抑制することは難しく今後更に増加する可能性がある。また、農業経営の安定化を図る6次産業化推進事業についても、加工商品化支援事業への農業者自身による取組実績は多くなく、今後は農業以外の業種との連携により農産物の付加価値を高める事業の検討も必要である。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等  
 農業者の高齢化や後継者不足などにより、今後更に耕作放棄地の増加が予想されるため、担い手の育成及び農作業の効率化のため一層の農地の集積・集約を進めるとともにICT(情報通信技術)を活用したスマート農業の推進が必要である。また、ライフスタイルの変化に伴う消費者のニーズに対応した安全で新鮮な付加価値の高い農産物の生産や収益性の高い農業経営を実現するため、農商工連携を活用した6次産業化や有機農業などの多様な農業経営の取組を支援する必要がある。

年度	R3
シートNo.	56
シート名	土地改良

# 業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		7.0	1.0	0.0
すべてのシートの合算		16.0	3.0	0.0

第五次総合計画	基本目的	Ⅶ 出会いと交流のある元気で活力のあるまち
	施策目的(上位目的)	23 農産物を安定して提供できるまちになる
	施策の方向	Ⅶ-23 農家数が減少するなか、関係機関との連携を図りながら新たな担い手の育成を推進します。また、認定農業者などへの情報提供や支援を行い、集落営農の組織化や法人化など、地域の実情に即した経営体の育成を図ります。

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
6	1	5	土地改良事業	72,607 千円
6	1	5	小規模農村整備事業	12,388 千円
6	1	5	農村地域基盤整備事業	9,953 千円
6	1	5	その他事業	34,000 千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				128,948 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
農業生産基盤が拡充される。	農用地利用集積(ha)	737	739	810	844	878	↑	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	土地改良事業の推進									
0101	農道の年間整備延長	年間整備延長(m)	569.1	579.5	254.9	706.2	500.7	→	×	計画的に整備している
010101	地元説明会の開催									
010102	測量及び積算									
010103	管理監督									
0102	水路の年間整備延長	年間整備延長(m)	39	110.4	150.6	213.5	4	→	×	計画的に整備している
010201	地元説明会の開催									
010202	測量及び積算									
010203	管理監督									
0103	新規の推進活動	活動回数	3	3	19	14	14	↑	○	
010301	地元説明会の開催									
010302	アンケート調査の実施									
	事業名	土地改良事業	年度別決算・予算額(千円)	18,880	40,339	39,026	62,661	52,673	31,416	
02	農用地区域内の環境保全	活動面積(ha)	254.6	361.2	395	471.3	547.47	↑	○	
0201	農地維持・資源向上の参加	活動回数	12	15	14	18	12	↑	×	
020101	実施状況の確認									
020102	機能診断									
020103	フォローアップ									
0202	支援事業の広報活動	活動組織数	6	8	9	10	11	↑	○	
020201	活動計画書の作成									
	事業名	多面的機能支払交付金事業	年度別決算・予算額(千円)	17,667	24,983	25,573	29,506	31,619	39,119	
03	農地防災	遊水池への貯留回数	2	4	4	8	8	→	○	
0301	遊水池の維持管理	管理面積(ha)	4	4	4	4	4	→	○	
030101	委託作業の発注									
030102	施設の保守点検作業									
0302	農業用水路改修延長	年間整備延長(m)	266	302.3	116	163.5	158.6	→	×	計画的に整備している
030201	地元説明会の開催									
030202	現地立会い									
	事業名	土地改良事業	年度別決算・予算額(千円)	9,296	17,938	12,199	1,406	294	315	

**第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括**  
 農業者の高齢化や後継者不足から就農人口が減少する中、業務の効率化及び省力化を図るため、農用地利用集積を進めてきた。さらなる農業生産基盤の拡充のため、ほ場整備事業実施に向け3地区から事業推進要望を受けていることから、今後は地元の理解を深め、確実に事業化することが重要である。  
 多面的機能支払交付金事業においては、活動組織の増加に努め、農業施設の維持及び資源向上を図ることができた。



**総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等**  
 基盤整備による農地の集積・集約化を推進し、地域における中心経営体を決め、新たな担い手の育成を図るなどの営農環境を整備します。現在、野辺・木戸・大島地区において、県営調査が行われており、国の基盤整備事業採択を目指しています。  
 多面的機能支払交付金事業においては、引き続き活動組織の増加に努め、農業施設の維持及び資源向上を図ります。